

# 2010年大学入試センター試験 志願者、受験者数について



昨年より参加大学・短大センター試験志願率が四一・〇%（昨年四〇・五%）と過去最高と過去最高になった。

センター試験志願者数は、二〇〇二年度から始まった成績開示希望者は、昨年より三三、九八一人と昨年比べて九〇八人増えて四二、〇三二人となり、志願者全体の七四・三%を占めている。

昨年より難化したとともに、国立大学が原則七科目化された二〇〇四年度以降、理系の平均点が文系を下回ったのは初めてである。

昨年より参加大学・短大センター試験志願率が四一・〇%（昨年四〇・五%）と過去最高と過去最高になった。

センター試験志願者数は、二〇〇二年度から始まった成績開示希望者は、昨年より三三、九八一人と昨年比べて九〇八人増えて四二、〇三二人となり、志願者全体の七四・三%を占めている。

本試験の受験者数は五二〇、六〇〇人（昨年五〇七、六二二人）となり、受験率は九四・〇八%（昨年度九三・三三%）であった。今年度は新型インフルエンザ流行のために追試験の日程変更や各都道府県での実施措置が取られたが、追試験の受験を認められたのは、予想より大幅に少ない人数であった。

平均点は数学ⅠA（マイナス二、五、六点）を筆頭に、多くの教科が前年を下回った。各教科における科目間の平均点差をみると、地歴では地理Bと世界史Bの間で五、四九点差、理科では生物と化学の間で二、五、九一点差となった。

教科別の平均点は、代々木ゼミナールの集計（九〇〇点集計）で、文系（六教科七科目）五五二・

大学入試センター試験自己採点と入試結果（現役）

大学 自己採点	九州大			熊本大			熊本県立大		
	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%
720~	4	4	100	1	1	100			
680~719	1	1	100	4	4	100			
640~679	2	2	100	7	6	86			
600~639				8	4	50	1	1	100
560~599				7	5	71	1	1	100
520~559				2	1	50	4	2	50
490~519				1	0	0	1	0	0
~490				4	0	0	4	1	25
合計	7	7	100	34	21	62	11	5	45

# 2010年入試概要



今春のセンター試験志願者は、前述のように五五三、三六八人（昨年五四三、九八一人）と、昨年に比べ九、三八七人増加した。これは、国公立大学への人気相変わらず高いことを示している。

志望動向を見ると都市部の難関大学や有名私立大学が人気を集めている。国公立大学においては「二極分化」傾向が継続しており、依然として現役中心の少数激戦りとなっている。二〇〇六年から推薦入試やAO入試の導入・実施を前提に、「前期日程試験のみ」の入試が認められたため、後期日程を廃止する大学が年々増加している。二〇一二年入試でも、こうした大学・学部が多少増えるものと予想される。このよう

に、国公立大学の一般入試は、前期日程重視の傾向が急速に強まっている。反面、大学全入時代が到来し、私立大学の四五%強が定員割れを起こし状況が深刻化している。このため、地方試験会場を増設する私立大学が全国的に増えている。

近年大学側が入学させたい学生の資質も明確になってきている。国公立大学では、二次試験（個別学力試験）に面接や小論文を課す場合もあり、二次試験料目を増やす大学も見受けられる。日頃から社会や将来に向けて興味を持つているかが大切で、基礎知識に加えて問題解決する能力が要求される。幅広く知識や教養を広めるための日々の努力が重要である。

